

石城郡農會が 農村託児所奨励

開設させたいと計画中
農繁期に最も痛切に感じられるのは農業努力の調節と幼児の保育を計る農村託児所の開設で縣では社會課農會邊りが真先となつて普及奨励に努力し地元石城郡農會でも地主小作人間の感情融和の點からもこれが必要を感じ農繁期一ヶ月間だけでも一字一區一ヶ所位の割下寺院佛敎團體などに託児所を設けたいといつてゐるが今年はいまだに一ヶ所の開設も見ない有様なので來年度には何とか具體的方法を講じようとする考案してゐる

磐城丸探漁 魚群濃厚なるも 餌付一般に不良

縣水産試験場磐城丸は二十日午前二時小名濱發漁場調査に向ふ針路を南東微東二分の一東にとり航行中午前九時距岸五十哩の海區にて「ころみ」鰹の大群に會し餌付不良にして中鰹二百尾内外を釣獲す同日午後一時半小名濱東南六十哩水溫二十度半の海區に於て餌付大群に會し餌付不良にして中鰹六百尾を釣獲すこの海區水良不良にして潮流北四分一哩とす
今度は……

害虫甚たし 巡回して指導

桑園に
石城郡養蠶同業組合では既に春蠶が一段落を告げたので目下害虫驅除及曲取法等桑園の改善方法を徹底的に普及せんと成田技術員が毎日管内各町村を巡回して指導してゐるが本年の害虫發生は實に甚だしく其儘に放棄して置けば明年の桑葉は全然發育不能に陥るべき見込なので各支部協力驅除に努めてゐるが此最も恐るべき害虫は姫象虫及貝殻虫にて其驅除薬としては石灰硫黄の合劑ホームー比重計

下層を採掘 埋藏炭十萬噸

石城郡磐崎村大字下湯長谷字長倉の磐城炭礦長倉坑は昨今漸く採掘の終末期に近づいたため近くこれを廢し新に優良炭の埋藏十萬噸と註せらるゝ同坑下層の採掘を開始することとなり二十日六日長峰主任よりその旨を所屬の坑夫二百數十名に通告した處一同は同坑休止後去就を氣遣つてゐた矢先

十八娘のお目見得 泥棒は常習犯と判る

昨日綴驛で逮捕さる
昨報平町南町鈴木齒科醫院にお目見得に住込み現金二圓及び下駄髪道具等を窃取し逃走した茨城郡那珂郡瓜連村大竹ナツ(一)は昨日午前六時頃綴驛附近を徘徊中平署刑事に逮捕されたが同人は此外茨城、栃木の兩縣に於てお目見得詐欺や窃盜を働いて居た常習犯にて目下嚴重取調中

一名は慘死 一名は重傷

炭車に衝突し
石城郡好間村古河炭礦支柱夫安達新殿村生れ金藏の弟佐久間哲也(三)同支柱夫岩瀬郡大尾村生れ清藏の弟深谷景次(三)の兩名は昨日午前七時頃坑内にて支柱作業に従事中突然滑走し來つた炭車に衝突し哲也は慘死し景次は重傷を負へ平署林部長檢視したと

突然爆發し 頭部に重傷

石城郡内郷村大字白水字廣畑杉山炭礦坑夫渡邊政一(三)は廿七日午後六時半同炭礦内にて爆發作業に従事中突然ダイナマイト爆發し頭



血壓を下げる
胡瓜の變つた喰べ方
イワキ食堂主

暑さが加つて來たので東部電力の平營業所では電氣扇の大大的擴張をなすべく從來嘗て行はなかつた電氣扇の月賦販賣を開始し目下武田所長自ら陣頭に立つてさきりに活動中で今年も昨年平町をはじめ内郷、湯本等同營業所管内の需要者二百

不正米商を 槍玉にあげんと

所轄警察署と協力して
平穀檢が取締る
穀物検査所平支所管内の白米商人中には昨年不正米相場奔騰の結果不正手段により外米を混入して賣捌てゐるものがあると言ふもので

同所では 所轄警察署と協力これ等不正商人を容赦なく槍玉にあげんと監視中であるが之に就き安島平穀検査所長は語る「現在の平町地方白米相場は五月下旬改正したもので現在の玄米相場より採算する時

警察部長巡視 別宮

本縣警察部長は鏡淵警務課長を伴ひ二十八日午前九時福島發岩沼廻り中村に入り中村署及び原町署を視察して漸次南下し浪江、富岡、四倉各署を視察して三十日平署、七月一日磐城炭礦及豊間回春園などを視察し二日には植田署を最後として同日歸廳する豫定である

兎の耳

若返りの妙薬
海道石狩川が數日來の降雨で増水し空知郡北村附近に大公望が多く出る其中に小學生徒の釣つた珍魚を小學校で酒精づけにして置くがテウツメといひ世界でシベリヤの或る河と石狩川より外になく北大動物學教授八田博士は「テウツメの腹からカビヤといふ筋子に似たものが取れる之を食すると美味なばかりでなく精力がつき西洋では俗に若返りの妙薬といはれてゐる」と石狩川には相當に棲息するらしい

平町人事

△出生
藤居勝武氏長女美津子
△田町一 藤居勝武氏長女美津子

四倉電氣 配當一割二分

方針である」云々
業績あがる
四倉電氣株式會社第二十七期定時株主總會は二十六日同社樓上に開會、根本祐太郎、太田三郎、吉野忠治の諸氏十餘名出席、新妻社長より期間における營業成績について詳細なる報告あり左記利益金處分案その他を満場一致可決し敢會した

活辯と駈落

廿の娘が
平驛で押らる
石城郡磐崎村小野田炭礦坑夫金次の二女國分サツノ(三)は昨日情夫の湯本町湯本座活動辯士山田己好(三)と共に駈落せんとして無斷家出し平驛にて汽車待合せ中夜半一時頃平署員に取押へらる

遭難漁船は 改造して初航海

既報石城郡江名町網取地先海岸で坐礁した宮城縣石巻町三浦一郎所有發動機漁船(三九ト)は元本縣水産試験場の磐城丸で去る大正十二年本縣から買受け從來冷蔵船であつたものを本年はじめて輕船に仕立て初航海に出で遭難したものである船底及びかちは大破し救助作業困難を極め廿七日午後本縣水産試験場の磐城丸が満潮時にひき船をなすべく救助につとめたが引上げはむづかしい模様である